

署・建災防合同年末パトロール実施

～無事故の歳末 明るい正月～

平成26年12月5日（金）、名護労働基準監督署と建災防沖縄県支部北部分会は、名護市以北の北部地区の建設現場を対象に建設現場合同年末パトロールを実施しました。

今年は、名護署管内において、建設業における休業4日以上労働災害が昨年同期の2倍以上と大幅に増加しており、建設業における労働災害防止は喫緊の課題となっています。

当日は、現場での安全指導を行うと共に、引き続き、労働災害防止に向けた自主的安全衛生活動の推進を呼びかけました。

なお、今回のパトロールでは、足場や建物からの墜落防止措置の不備、足場の物体落下措置の不備、掘削箇所の土砂崩壊防止対策の不備、手持ち式グラインダーのカバーの不備、足場計画届等の未提出などについて監督署及び建災防から指導が行われました。

